

旭川市立神楽中学校の2年生が職場体験学習のために来署しました

令和7年10月22日（水）、神楽中学校第2学年の4名が、職場体験学習のために来署しました。

同中学校では、「様々な体験を通して、働く大人の姿に触れ、仕事の大切さや厳しさ、喜びや生きがいについて考えさせる機会を設けること」をテーマに、毎年実施されているものです。

当日は、9時から15時までのスケジュールにより、生徒の皆さんには、午前中は当署の概要を説明した後、外国樹種見本林で輪尺を使っての収穫調査を体験してもらいました。帰署した後は、収穫調査野帳のとりまとめや、生徒の皆さんからの「この仕事をやっていて楽しいこと、喜びはどんなことですか。」「重機はどのようなものを使用しますか。」などの質問について、職員の経験や思い、林業機械の説明を行いました。



管内概要の説明を聞く生徒の皆さん



見本林での収穫調査の体験の様子

午後からは、嵐山地区の保育間伐の作業現場に行き、グラップルとフォワーダを使用した集運材や土場での荷下し、巻立作業、人力でのチェーンソーによる伐採、ハーベスタを使用した伐採・枝払い・玉切り作業の見学を行いました。このような機会もなかなかなく、熱心に見入っていました。



土場での作業見学

帰署後は、1日を通しての質問を受け、「現場で使用している重機の色はどうして黄色なのか。」と話され、その着眼点にはっとさせられましたが、「黄色やオレンジが多く、メーカーや車種によって異なるが、警戒色として最も早く認識できる色が黄色とされています」と回答し、職場体験学習を終了しました。

職場体験の各個人のまとめについては校内の紙面に掲示され、グループでのまとめはスライドを作成して校内発表もされとのことで、どのような発表をされるのか楽しみにしています。



ハーベスタによる伐採等作業の見学